



2016年1月15日

株式会社テイツー (JASDAQ 7610)

2016年2月期 第3四半期 決算説明資料



2016年2月期 第3四半期 決算説明

2016年2月期 第3四半期 業績の概要

● 連結損益計算書

(単位:百万円)	2015年 2月期 3Q累計期間	2016年 2月期 3Q累計期間	増 減
売上高	20,826	20,587	△238
売上総利益	5,821	5,736	△85
営業利益	△330	△231	98
経常利益	△324	△227	97
四半期純利益	△258	△321	△62
1株当たり四半期純利益	△5円11銭	△6円35銭	

● 比較損益計算書(個別)

(単位:百万円)	2015年 2月期 3Q累計期間	2016年 2月期 3Q累計期間	増 減
売上高	20,810	20,540	△270
売上総利益	5,823	5,732	△91
営業利益	△249	△95	153
経常利益	△253	△101	151
四半期純利益	△189	△187	1

売 上 高

前年同期から減少。

当第3四半期より古本は増加に転じ、新品・中古トレカが増収、下降トレンドのゲーム、CD、DVDを補う。

営業利益/経常利益

前年同期から損失縮小。

売上総利益は減少したものの、コスト削減施策による販管費の低減があり、損失額が縮小。

四半期純利益

前年同期から減益。

第2四半期における閉店費用等の特別損失計上の影響により、前期を下回る。

2016年2月期 第3四半期 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)	2015/2末		2015/11末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	6,546	68.9%	7,143	72.1%	596
現預金	2,017	21.2%	2,194	22.2%	177
売掛金	304	3.2%	370	3.7%	65
商品	3,716	39.1%	4,113	41.5%	396
貯蔵品	25	0.3%	25	0.3%	0
その他	483	5.1%	440	4.4%	△42
固定資産	2,948	31.1%	2,762	27.9%	△186
有形固定資産	986	10.4%	928	9.4%	△57
建物及び構築物(純額)	519	5.5%	463	4.7%	△56
その他(純額)	466	4.9%	465	4.7%	△1
無形固定資産	220	2.3%	237	2.4%	16
投資その他の資産	1,741	18.3%	1,596	16.1%	△145
差入保証金	1,275	13.4%	1,196	12.1%	△78
投資有価証券、子会社/ 関係会社株式	222	2.3%	198	2.0%	△24
その他	243	2.6%	201	2.0%	41
総資産	9,495	100.0%	9,905	100.0%	410

(単位:百万円)	2015/2末		2015/11末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
負債合計	5,863	61.8%	6,601	66.6%	737
流動負債	3,366	35.4%	3,894	39.3%	528
買掛金	724	7.6%	1,459	14.7%	735
短期借入金	700	7.4%	900	9.1%	200
1年内長期借入金	1,033	10.9%	753	7.6%	△279
未払法人税等	19	0.2%	41	0.4%	22
その他	889	9.4%	739	7.5%	△149
固定負債	2,497	26.3%	2,706	27.3%	209
長期借入金	1,548	16.3%	1,739	17.6%	191
その他	949	10.0%	966	9.8%	17
純資産	3,631	38.2%	3,304	33.4%	△327
株主資本	3,636	38.3%	3,299	33.3%	△337
その他包括利益累計額	△6	△0.1%	△1	0.0%	5
新株予約権	2	0.0%	6	0.1%	4
負債純資産合計	9,495	100.0%	9,905	100%	410

主な資産の増減

- ・流動資産:現預金・商品在庫の増加
- ・有形固定資産:差入保証金の減少等。

主な負債増減

- ・買掛金及び短期借入金の増加（商品在庫強化のため）

主な純資産の増減

- ・株主資本:当期損失の計上

事業戦略の進捗状況

2016年2月期の課題

粗利減を前提としながら、コスト削減によって利益を確保する。

個別業績を黒字転換へ

※連結業績予想については、連結子会社の抜本的改革を検討しているため、公表を差し控えております。

コスト削減を継続しつつ、次の成長への布石を打つ。

次の成長に向けた布石

- A.新商材(ホビー、古着等)取扱いの拡大
- B.自力での新規出店
- C.M&Aによる出店拡大の検討
- D.商材(トレカ)の外販(卸売販売)

売上高・売上総利益

- 期初計画を達成する。

コスト削減

販売費及び一般管理費

→ 通期では前期比5億円の削減を計画

- ・固定コストの削減が、下半期はフル寄与
- ・変動コストの削減は、継続して実施
- ・販促手法の見直しも継続して実施、販促コストの低減を図る。

2016年2月期 下半期の取り組み:次の成長に向けた布石①

コスト削減や不採算店舗の閉店のみでは縮小均衡であり、一時的な黒字化は可能であっても、市場全体が縮小する中では、将来的な成長が見込めない。

そのため、黒字化を阻害しない範囲で、下記の売上拡大策を検討・計画・実施する。

※各施策については、前期および当期上半期から一部を既に実施しております。

売場効率
改善

A 新商材 (ホビー、古着等) 取扱いの拡大

店舗数
拡大

B 自力での新規出店

C M&Aによる出店拡大の検討

その他

D 商材 (トレカ) の外販 (卸売販売)

2016年2月期 下半期の取り組み:次の成長に向けた布石②

売り場効率の改善(新商材の導入、育成):計画施策展開

「コレクターズ」商品の導入による店舗の活性化、収益性向上を目指して、店舗改修・出店を実施

新店

10月24日 古本市場コレクターズ 喜連西店

リニューアル

11月14日 古本市場 西神戸店・竹の塚店

11月28日 古本市場コレクターズ 富田林店

11月28日 古本市場 光が丘店・蓮田店

ふるほんいちば
古本市場
コレクターズ

フィギュア
ホビー

新商材



コレクターズ商品売り場



古本市場 西神戸店(外観)

売上を着実に拡大し、既存商材とのシナジーも創出
今後も本格導入店舗の拡充を図る予定。

2016年2月期 下半期の取り組み:次の成長に向けた布石③

取扱いを開始して以来、一定の成果を挙げることが出来たトレカにおいて、さらに収益拡大を図るため
今後はトレカのFC展開(卸売)を開始

◎ほぼ直営店全店に、トレカパーク・コーナーの展開を完了

◎トレカ専門店の出店により、トレカ単一商材での店舗運営ノウハウを蓄積

◎人財の育成も順調に進捗

※トレカ販売においては、中古買取のノウハウのみならず、トレカパークの盛り上がり(雰囲気)も、新品販売の動向に直結するため、運営ノウハウも非常に重要。

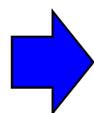
※当社トレカパークの一定の認知度・ブランド力強化が進んだため、収益性を高めるため一部の直営店は集約・統合を実施。

運用支援(FC契約)

トレカ卸売

フランチャイズ加盟企業様

2015年11月末のFC店舗 **16**店舗



FCの開拓チャネルの開発も含め引き続き
取り組みを強化

2016年2月期 配当予想

■中間実績と、期末・通期の配当予想について

当社は配当に関して、配当性向25%以上を目処として業績に応じた配当を安定的に実施することを基本方針としております。

(単位:円)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
配当金	—	—	—	—	—
前期実績 (2015年2月期)	—	0.50	—	—	0.50

(注)2016年2月期の配当額は未定。

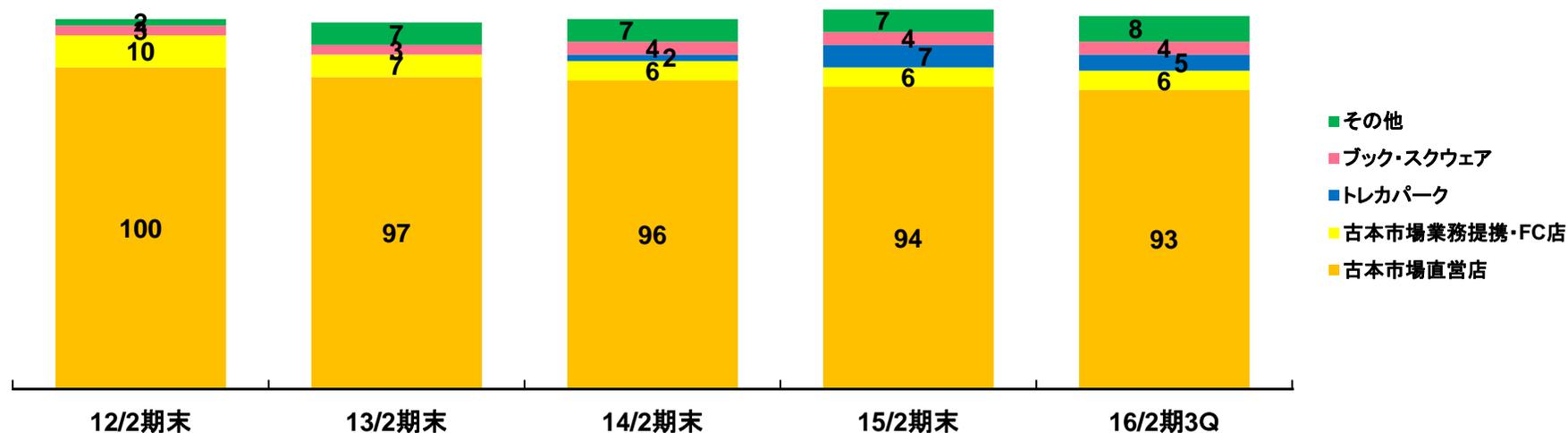
■配当性向の実績と計画

	第22期(実績)	第23期(実績)	第24期(実績)	第25期	第26期(予想)
	2011/3-2012/2	2012/3-2013/2	2013/3-2014/2	2014/3-2015/2	2015/3-2016/2
当期純利益	△19百万円	244百万円	△193百万円	△1,355百万円	—
配当金	113百万円	113百万円	80百万円	25百万円	—
配当性向	—	46.4%	—	—	—

(注)22期は個別当期純利益及び個別配当性向

参考資料

〔ご参考〕2016年2月期 第3四半期 店舗の状況



	2015/2期	2016/2期 3Q			増減数
	期末	出店	退店	期末	
古本市場直営店	94(1)	1	2	93(1)	△1
古本市場業務提携・FC店	6	1	1	6	—
トレカパーク	7	—	2	5	△2
ブック・スクウェア	4(1)	—	—	4(1)	—
3Bee	2(2)	—	1	1(1)	△1
MO-ZEAL	1(1)	2	—	3(2)	2
TSUTAYA(単独店)	2	—	—	2	—
Family Mart	2	—	—	2	—
合計	118(5)	4	6	116(5)	△2

※カッコ内はTSUTAYA併設店となります。

会社概要

社名	株式会社テイツー（英訳名 TAY TWO CO.,LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日：JASDAQ
本社	岡山県岡山市北区今村650番111
東京本部	東京都品川区西五反田7-1-1住友五反田ビル5F、6F
代表者	代表取締役社長 寺田 勝宏
事業内容	1.古本、家庭用ゲームソフト・ハード、トレーディングカード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取及びビデオレンタル業務、コンビニエンスストア「Family Mart」の運営 2.インターネットサイト「furu1online」の運営
従業員数	正社員 292人、パート・アルバイト 1,366人 計1,658人（2015年11月末現在）
資本金	1,165百万円（2015年8月末現在）
発行済株式数	52,640,000株：1単元100株（2015年8月末現在）
株主数	6,453名（2015年8月末現在）

満足を創る

本資料は2016年2月期第3四半期の業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2016年1月15日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口：社長室

TEL03-5719-4775 FAX03-5719-4583

E-mail: ir@tay2.co.jp

URL: <http://www.tay2.co.jp>